

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和5年6月30日

栃木県知事
福田 富一 様

提出者

住 所 栃木県大田原市上石上1844

氏 名 日本サーファクタント工業株式会社 那須事業所 所長 町田 充弘
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0287-29-2581

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

| | |
|--------------------------|--------------------------|
| 事業場の名称 | 日本サーファクタント工業株式会社 那須事業所 |
| 事業場の所在地 | 栃木県大田原市上石上1844 |
| 計画期間 | 令和5年4月1日から令和6年3月31日 |
| 当該事業場において現に行っている事業に関する事項 | |
| ① 事業の種類 | 166 化粧品・歯磨・その他の化粧用調製品製造業 |
| ② 事業の規模 | — |
| ③ 従業員数 | 63人 |
| ④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程 | 別紙1の通り |

(日本工業規格 A列4番)

| 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 | | |
|---------------------------|--|---------|
| (管理体制図) 別紙2の通り | | |
| 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 | | |
| ① 現状 | 【前年度（令和 4年度）実績】 | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙3のとおり |
| | 排 出 量 | 別紙3のとおり |
| | (これまでに実施した取組) 製造工程の見直しにより使用量を削減し、排出を抑制の取り組みを実施。 廃油等リサイクル再利用などを実施して、使用量の削減に取り組んでいる。 | |
| ② 計画 | 【目標】 | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙3のとおり |
| | 排 出 量 | 別紙3のとおり |
| | (今後実施する予定の取組) ・廃油等リサイクル再利用などを継続して実施する。 廃油、廃酸は再生・再利用方法の情報収集を行い、可能な処理方法の情報を取得する。 | |
| 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項 | | |
| ① 現状 | (分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) — | |
| ③ 計画 | (今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) — | |

| 自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項 | | | |
|--------------------------|--|---------|--|
| ① 現状 | 【前年度（令和 4年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙3のとおり | |
| | 自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量 | 別紙3のとおり | |
| | （これまでに実施した取組） 廃油の蒸留を行い、原料としてリサイクル再利用。 — | | |
| ② 計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙3のとおり | |
| | 自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 | 別紙3のとおり | |
| | （今後実施する予定の取組） 継続して、廃油の蒸留を行い、原料としてリサイクル再利用を進める。 — | | |
| 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項 | | | |
| ① 現状 | 【前年度（令和 4年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙3のとおり | |
| | 自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量 | 別紙3のとおり | |
| | 自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量 | 別紙3のとおり | |
| （これまでに実施した取組） — | | | |
| ② 計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙3のとおり | |
| | 自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量 | 別紙3のとおり | |
| | 自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 | 別紙3のとおり | |
| （今後実施する予定の取組） — | | | |

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

| | | | |
|------|------------------------|---------|--|
| ① 現状 | 【前年度（令和 4年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙3のとおり | |
| | 自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量 | 別紙3のとおり | |
| | (これまでに実施した取組) — | | |
| ② 計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙3のとおり | |
| | 自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量 | 別紙3のとおり | |
| | (今後実施する予定の取組) | | |

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

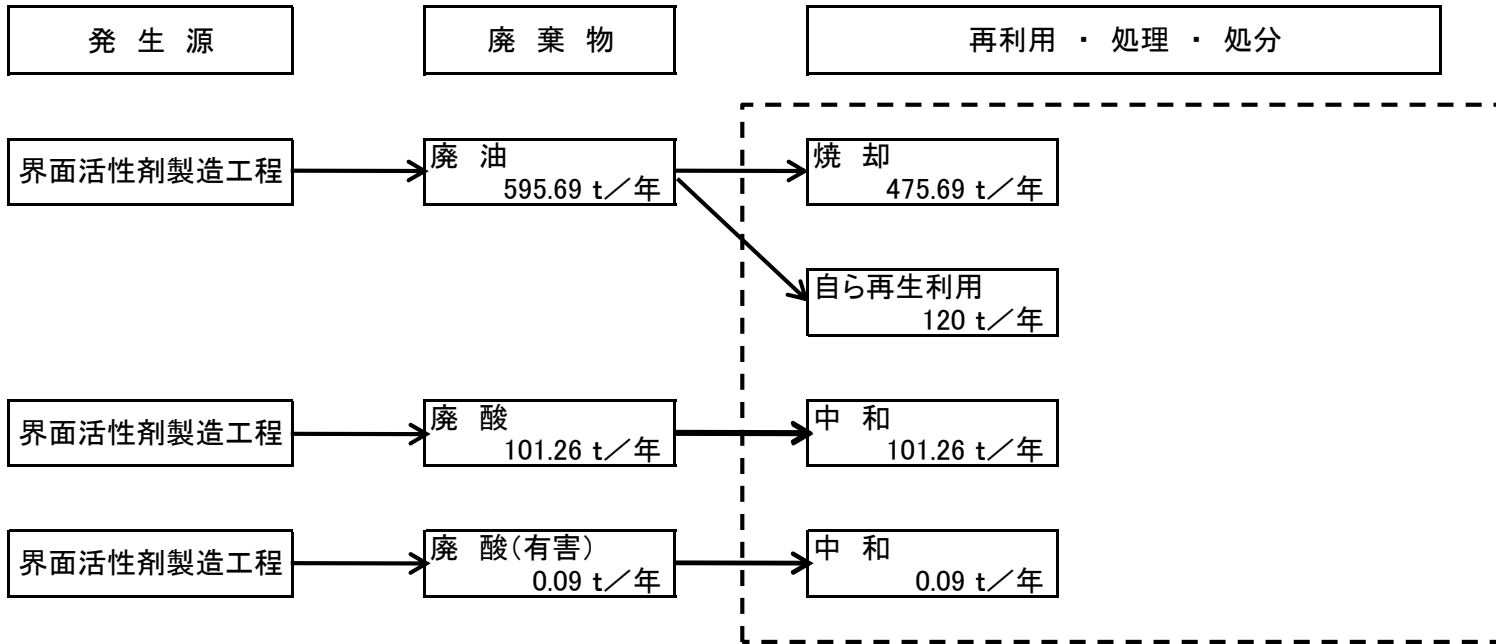
| | | | |
|------|---|---------|--|
| ① 現状 | 【前年度（令和 4年度）実績】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙3のとおり | |
| | 全処理委託量 | 別紙3のとおり | |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | 別紙3のとおり | |
| | 再生利用業者への処理委託量 | 別紙3のとおり | |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | 別紙3のとおり | |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 別紙3のとおり | |
| | (これまでに実施した取組) | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃油は優良認定処理業者及び再生利用業者へ委託。 ・ 廃酸は優良認定処理業者へ委託。 ・ 廃酸（有害）は優良認定処理業者へ委託。 ・ 社内での再利用実施。 | | |

| | | | |
|--------|---|---------|--|
| ② 計画 | 【目標】 | | |
| | 特別管理産業廃棄物の種類 | 別紙3のとおり | |
| | 全処理委託量 | 別紙3のとおり | |
| | 優良認定処理業者への処理委託量 | 別紙3のとおり | |
| | 再生利用業者への処理委託量 | 別紙3のとおり | |
| | 認定熱回収業者への処理委託量 | 別紙3のとおり | |
| | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | 別紙3のとおり | |
| | <p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>循環型の社会を目指す為に、弊社も産業廃棄物削減や再利用を実施しております。その他廃棄物についても検討を進め、取り組みをしています。</p> <p>廃油、廃酸等について、再生・再利用方法の情報収集を行い、再利用の検討や実施を進める。</p> | | |
| ※事務処理欄 | | | |

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

廃棄物処理フロー図 (令和5年度)



※実績量を記入

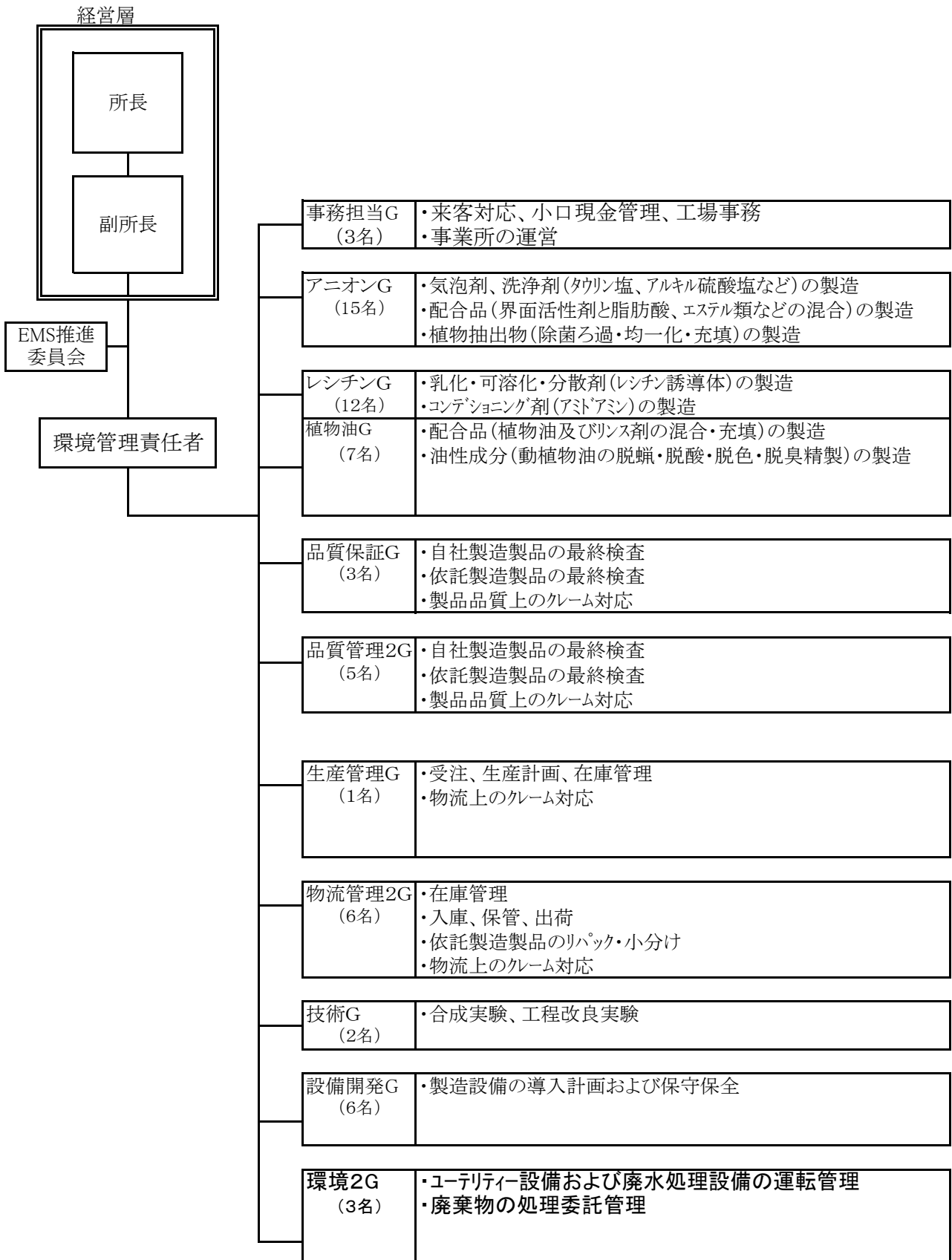
廃棄物処理の流れ: →

委託処理部分の範囲: []

1. EMS組織体制

1) 那須事業所の環境マネジメントシステム組織体制と業務概要は下記に示す。
 日本サーファクタント工業株式会社
 那須事業所(63名)

2023/6/30



別紙 3

R4年度実績値及びR5年度目標値

| 排水・処理 の区分 | 廃油 | | 廃酸 | | 廃酸(有害) | |
|-----------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 実績 [t] | 目標 [t] | 実績 [t] | 目標 [t] | 実績 [t] | 目標 [t] |
| | (R4年度) | (R5年度) | (R4年度) | (R5年度) | (R4年度) | (R5年度) |
| 排出量 | 595.69 | 570 | 101.17 | 100 | 0.09 | 0.08 |
| 自己再生利用量 | 120 | 120 | | | | |
| 自己熱回収量 | | | | | | |
| 自己中間処理減量化量 | | | | | | |
| 自己埋立処分又は海洋 投入処分量 | | | | | | |
| 全処理委託量 | 475.69 | 450 | 101.17 | 90 | 0.09 | 0.08 |
| 優良認定処理業者へ の処理委託量 | 300.46 | 300 | 101.17 | 90 | 0.09 | 0.08 |
| 再生利用業者への処 理委託量 | 402.42 | 400 | | | | |
| 認定熱回収業者への 処理委託量 | | | | | | |
| 認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量 | | | | | | |